

令和6年度中間決算の状況

令和6年度中間決算は、一般企業の営業利益にあたるサービス活動増減差額が764万5千円と昨年度に比べまして△2,180万2千円で大幅な減額となりました。主な要因として、収益においては、報酬単位の区分や単価の改定に加えて利用者の減少により731万8千円の減収、一方費用においては、主に職員の処遇改善や増員により人件費が1,133万3千円増加したことによるものです。このように、非常に厳しい状況下にありますが、今後もより良いサービスの充実を図り、新規利用や利用率のさらなる改善による収入の確保や経費節減による支出の抑制に努めてまいります。

(自) 令和6年4月1日 (至) 令和6年9月30日

勘定科目		R6年度決算	R5年度決算	対前年度増減
サービス活動増減の部	収益			
	就労支援事業収益	7,661,073	6,208,259	1,452,814
	障害福祉サービス等事業収益	149,997,849	158,607,740	-8,609,891
	経常経費寄付金収益	0	161,000	-161,000
	サービス活動収益	157,658,922	164,976,999	-7,318,077
費用	人件費	104,155,006	92,821,762	11,333,244
	事業費	15,416,640	14,580,223	836,417
	事務費	18,415,538	16,397,919	2,017,619
	就労支援事業費用	7,296,068	6,865,225	430,843
	減価償却費	8,627,456	8,877,922	-250,466
	国庫補助金等特別積立金取り崩し額	-3,897,048	-4,013,020	115,972
	サービス活動費用計	150,013,660	135,530,031	14,483,629
	サービス活動増減差額	7,645,262	29,446,968	-21,801,706

安全・安心の支援に向けて 10月30日(水)

三田市社会福祉協議会 総合支援センターウッディ地域包括支援センター 所長 高橋明子さんを講師に招き「事故防止研修」を行いました。研修では事故が起きる状況や可能性について講義が行われ、グループ討議では事例について意見交換を行いました。事故を未然に防ぐためには、利用者さんの状況を把握することなど事前の準備や、職員が連携をとることでヒューマンエラー(人的要因)を少なくすることが重要であることを学びました。

今回の講義で学んだことや、グループ討議で情報共有したことを日々の支援に活かすことで、今後の事故防止に努めていきます。



全職員が参加できるように2部制にして実施しました

障害者週間啓発イベント



ペットボトルの蓋で文字を作っています

障害者週間期間が 11/26～12/4 にありました。

【つなげよう明るい未来】をスローガンに掲げ、障害者週間を知ってもらおうと 11/30 に三田市総合保健福祉センターにて障害者啓発イベントがありました。

ファッションショーやスポーツ体験、ふれあい動物園など様々な楽しいイベントがあり、どれも大賑わいでした。わくわく村では物販コーナーにて製菓品を販売し、「可愛い」、「お土産に持って帰りたい」と好評で、お陰様で完売致しました。

わくわく村製菓品も好評で完売しました



福祉センターの舞台上ではショーも披露され、その他物販販売や疑似体験等も行われました

ボランティア募集!!

いつもたくさんのボランティアさんにご協力いただきありがとうございます！利用者さんの充実した日中活動において、まだまだ皆様の力が必要です。音楽や体を動かすなど得意な事を活かして、互いに充実した活動にしてみませんか？ご協力、お待ちしております☆



新職員紹介



令和6年12月16日付
すずかけ台事業所自立訓練で勤務しています。
初めて障害福祉の分野で働きま
す。一生けん命頑張りますのでよろ
しくお祈りいたします。

すずかけ台事業所
自立訓練 池上夏絵

これからの予定

- 1/10(金) 二十歳のお祝い会
- 4/1(火) 入所式

わくわく通信

〒669-1515 三田市大原 1546-5
 発行 社会福祉法人 風
 障害福祉サービス (多機能型)
 三田わくわく村

TEL)079-564-0909
 (FAX)079-564-8500
 (e-mail) sanda.wakuwakumura@giga.ocn.ne.jp
 (Hp アドレス) <http://sandawakuwakumura.com/>

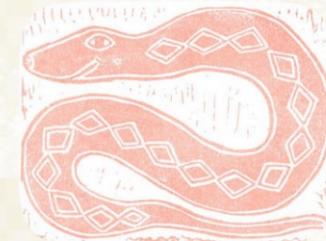


謹んで新春のお慶びを申し上げます。
 皆様には、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。
 今年は巳年、「再生と変化」・大きな変化と転換が起こる年と言われています。
 少子高齢化人口減少が一段と進む中、利用者保護者の皆さんのニーズも多様化し、一方で法人を取り巻く環境も大きく変化してまいります。
 来年は三田わくわく村開設 30 周年を迎えます。今までの歩みを振り返り新しい時代に対応する道を示していく、正に再生と変化の年を迎えます。

わくわく村の開所後すぐに入所された方は間もなく五十歳となり、高齢化に伴い在宅生活の困難な方も増えてまいります。施設では、利用者の皆さんがいつまでも住み慣れた地域でいきいきと活動し暮らしていただくため、共生型サービスをはじめとする新たな生活支援事業の導入などの検討を進めており、今年度は将来の施設運営の方向を定める重要な年でもあります。

本年も多くの皆様のご支援を頂きながら、職員一同利用者の皆さんの充実した活動支援に取り組んでまいります。一層のご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人風理事長
西田孝夫



版画制作 倉鋪 博正

新年あけましておめでとうございます。
 今年度より保護者会会長をさせて頂いております。昨年は初めてのことばかりであったという間に時間が過ぎた様に思います。五月の総会以来七月、九月、十一月と保護者会を行いました。保護者の方々の役に立つことが出来たかどうか疑問に思うところがあります。そのなかでも十一月の保護者会において懇親会を開催したことが印象に残っています。悩み事、将来への不安、自身の健康の事など多くの話を聞く事が出来、私自身とても参考になりました。
 今後このような懇親会が開催出来たらと思いましたが、新しい年がスタートしましたが、今年も保護者の方々に様々な場を提供し保護者や利用者の方々の為になる保護者会を役員の方々の協力のもと、運営して行きたいと思っております。ご協力お願いします。保護者会会長 今津泰敏



社会福祉法人風後援会会長
古田茂充

新年あけましておめでとうございます。
 社会福祉法人風後援会会長の古田と申します。
 本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。
 今年一月十七日は阪神淡路大震災から三十年、昨年元旦には能登半島地震まだまだ復旧復興には至っていません。一日も早い復旧復興を願うと共に、本年大きな自然災害がない事を祈っています。
 さて、風後援会も今年で創立三十年を迎える事となりました。しかしながら近年は新型コロナウイルス感染症等による活動自粛や組織のマンネリ化、事務局の負担増の課題等懸念され、設立当初の後援会活動が出来ていない様に思われます。この事は私の努力不足だと反省しています。
 今年は原点に立ち返り会員の皆様方のご理解ご協力を頂きながら、後援会の活性化を図り、わくわく村利用者をはじめ障害者の皆さんが地域で安心して暮らせる環境づくりに取り組んでまいりますので、ご支援の程重ねてよろしくお願い申し上げます。



風 後援会からご入会のお願い

社会福祉法人風後援会は、障害者の自立と三田わくわく村の発展を願って平成7年に発足し、寄付活動や理解啓発活動を進めています。

毎年皆様のご入会(ご寄付)により、送迎車両の購入や雨よけ上屋の整備など、利用者の皆さんの活動環境整備を進めています。

今後、一層活動の輪が広がりますよう本会の趣旨にご賛同いただき、ご入会賜りますようよろしくお願い申し上げます。
 なお、今年度より事業所等のみなさん方にもご支援いただきたく賛助会員の入会をお願いしています。

個人年会費 1口 1,000 円
 事業所等賛助会費 1口 3,000 円 振込先は下表のとおりです

金融機関	支店名	口座番号
ゆうちょ銀行		01110-3-66308
三井住友銀行	三田支店(店番 391)	普通 3808145
三井住友銀行	ウッディタウン出張所(店番 395)	普通 3120072

名義は全て『社会福祉法人風後援会』です
 【お問い合わせ】
 「風」後援会事務局 三田わくわく村大原事業所内
 〒669-1515 三田市大原梅ノ木 1546-5
 ☎079-564-0909

2025年は成長と結実の年



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
 旧年中は、三田わくわく村に対し格別のご支援ご協力を賜わり、誠にありがとうございました。心より感謝とお礼を申し上げます。

2025年の乙巳（きのとみ）の年は、多くの人にとり成長と結実の時期と言われています。「乙」は未だ発展途上の状態を表し、「巳」は植物が最大限まで成長した状態を意味しており、この組み合わせは、これまでの努力や準備が実を結び始める時期を示唆しているようです。



昨年を振り返りますと、能登半島地震、特別警報が出され記録的な大雨による河川の氾濫や土砂崩れ、南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）などの自然災害がありました。急速に進む温暖化などの影響もあり、私たちが経験した事のない気象状況は今後も起こると思われ、BCP（業務継続計画）に基づき研修や訓練を行い、日頃の備えをしていきたいと思えます。経済面では20年ぶりの新紙幣の発行、政治面では石破新内閣発足といった出来事がありました。スポーツ界では大谷選手が50盗塁50HRを達成し、ナショナルリーグMVP、そして目標であったワールドシリーズの優勝、オリンピック・パラリンピックでは日本人選手の活躍など輝かしい出来事がありました。

福祉に目を向けると、2024年は3年に一度の報酬改定の年であり、生活介護事業はサービス提供時間ごとの基本報酬に設定されたことから収入が昨年度より大きく減収になりました。また、処遇改善や職員の増加など職場環境の充実を図っており経費も増加がみられていますが、今後も適正且つ公正な事業収入や給付費、補助金、寄付金等の収入確保や厳正で効率的な支出管理に努め、安定した運営を目指します。



昨年は、わくわく村で外出活動中における利用者行方不明という大きな事故がありました。起こさないことが絶対条件ですが、起きたことで気づけること、整備が必要などとも見えてきます。次に絶対起こさないように体制を整備すると共に普段から職員が意識して対応を行い、サービスの質や信頼性の向上に努めていきます。

最後に、昨年は二人の利用者の方が旅立たれました。ご本人の望む生活に寄り添う事が出来ていたのか、わくわく村で楽しく充実した時間が送れていたのか、もう少し温かい手に触れておきたかったなど考えればきりがありません。ただ、十分とはいかないまでも、職員一同今できる精一杯のことを考え取り組んでいます。今後も更に魅力あるサービスに向け取り組んでいきますので、これからも見守って頂けたらと思います。



わくわく村は来年に30年を迎えます。措置制度から支援費制度、そして総合自立支援法へと制度も大きく変化していますが、これまでの努力や準備が実を結ぶ一年となるように、利用者の方の望む生活の実現に向け、信頼され地域に根差した施設となるよう職員一同が使命感と責任感を持ち取り組んで参りますので、一層のご指導ご鞭撻をお願いしますと共に、皆様方の益々のご健勝、ご多幸をご祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。

施設長 奥 貞晴

（三田わくわく村4事業所今年の抱負）

大原事業所 (生活介護・知的障害者支援・相談支援・日中一時)	<p>昨年はコロナウィルスもひとまずは落ち着き、活動の幅が広がり、ご利用者の楽しみが増えた一方で、油断より生じる大きな事故もありました。</p> <p>今年は支援のあらゆる場面で意識した行動を心掛け、当たり前のことを当たり前に行うことを徹底し、事故を未然に防ぎ、ご利用者並びにご家族にとって安心した日々を過ごすことのできる事業所を目指して努力して行きたいと思えます。</p> <p style="text-align: right;">所長補佐 家次寛治</p>
志手原事業所 (就労継続支援B型・就労移行)	<p>2024年は製菓の発展を目標に掲げ取り組みました。新製品の開発では目標に届かなかったですが、パン商品への積極的な取り組みをスタートしました。サンポッパベーカリーとのコラボ商品や毎週木曜日にはアンテナショップ「キラリ」での販売を開始し徐々に認知度を高めています！</p> <p>2025年こそ、新たな商品が皆様の手が届くよう頑張ります！！</p> <p style="text-align: right;">所長補佐 小田聖子</p>
本町事業所 (就労継続支援B型)	<p>30℃以上の日が5～6ヶ月続いた今年は、様々な対策を講じることで暑さをしのぎ、乗り切ることができました。</p> <p>今年は安全管理をさらに徹底し、皆様が毎日、健康で楽しく過ごせるように、チーム全体で協力しながら最善の支援を提供することが出来るように努めて参ります。</p> <p style="text-align: right;">所長補佐 石橋悠吾</p>
すずかけ台事業所 (就労継続支援B型・生活介護・自立訓練)	<p>B型 … 一人一人が自分らしく過ごせるように考えていきます。作業では、それぞれの方のレベルに合わせたスキルアップができるよう取り組みます。</p> <p>生活介護 … 仲間たちと協力して室内作業に取り組み、また余暇ではたくさんの方の思い出を作ることが出来るように考えていきます。</p> <p>自立 … いろいろ経験することで、その方の可能性が広がっていくように頑張ります。</p> <p style="text-align: right;">所長 田川みゆき</p>

2024年 三田わくわく村クリスマス会



12月13日（金）今年も物価高騰の中、サンパレス六甲の皆さんのご協力を頂いてクリスマス会を開催することができました。心より感謝申し上げます。

オープニングではジングルベルとあわてんぼうのサンタクロースをみんなで大合唱。歌って踊ってのスタートでした。シャンメリーで乾杯し、美味しい料理を食べながら各事業所のクリスマス動画を楽しみました。



司会は志手原事業所・黒木沙織さん・平阪翔支援員



プレゼントのチョコレート



サンタクロースのバルーンショー頭の風船を割りました

チョコレートを持ってサンタ登場

クリスマスメニュー



食事が終わる頃サンタクロースがトナカイと共に登場。トナカイが各テーブルにプレゼントのチョコレートを届けました。

サンタクロースがバルーンショーをしてくれて利用者さんも舞台の前に集まり、笑顔いっぱい大盛り上がりでした！

みんながデザートとコーヒーを頂く頃に、フルートアンサンブル MOOさんのフルート演奏。打楽器をたたいて一緒に音を奏でたり、静かに音楽を聴いたりとても楽しい時間を過ごし、あっという間の2時間半でした。



フルートアンサンブル MOOさんの演奏



利用者・職員・ボランティア みんなで141名が参加して開催

利用者さんが笑顔で楽しんでくださる姿が本当に嬉しく、とても幸せな気持ちになりました！来年もみんな元気にクリスマス会を楽しみましょうー！！



祝 二十歳のお祝い会

1月10日（金）に大原事業所にて二十歳お祝い会を実施します。

今年度は大原事業所より1名、中山泰良さんが二十歳を迎えられます。

新型コロナウイルス・インフルエンザ等の感染拡大防止のため、対象者が大原事業所だけなので大原事業所の利用者のみでお祝い会を開催し、志手原事業所・本町事業所・すずかけ台事業所からはビデオレターでお祝いします。

また、神戸特別支援学校で中山泰良さんと関わりのあった教職員さんからのメッセージ動画を上映する予定になっています。職員一同、皆様益々のご成長、ご活躍をお祈り申し上げます。

<ご家族様より>

三田わくわく村に入所して2年目、泰良もおかげさまで20歳を迎える事ができました。職員や周りの皆様方に支えられて、毎日元気に通わせていただき、大変ありがとうございます。これからも皆様と共に過ごせる日々を大切にしながら、泰良が笑顔でいられるように願っています。どうぞ今後ともよろしくお祈りいたします。



中山泰良さん

